

Press Release



<<報道資料>>

2012年10月22日

日本コンピュウェア株式会社

ビッグデータ用ソリューションの新たな価格設定で APMにおけるリーダーシップをさらに強化

Compuware APM から、

24時間365日の連続したジョブ可視化と、自動ホットスポット分析を行う

Hadoop Performance Optimization を

Hadoop JVM 1台につき1,000ドルからの価格で提供開始

※当資料は、コンピュウェア コーポレーションが米国時間2012年10月16日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2012年10月16日発表 - コンピュウェア コーポレーション(NASDAQ: CPWR)は、本日、Apache Hadoop アプリケーションのパフォーマンスを最適化する、業界初のディープなトランザクションソリューションの価格設定を発表しました。Compuware APM の dynaTrace Enterprise for Hadoop は、Hadoop Java Virtual Machine (JVM) 1台につき、1,000ドルからの価格で提供を開始します。

Hadoop MapReduce を利用するアプリケーションは、膨大なパフォーマンスデータの処理が可能になった代わりに、数多くのパフォーマンスの課題やボトルネックを抱え込むこととなり、現在の分散されたアプリケーション環境にとって悩みの種となっています。ノード間でのデータ分散と計算の最適化や、ジョブ実行の効率化、さらには、入出力のボトルネックを識別し、数千に及ぶノード間でのCPUとメモリ消費を調整するには、Hadoop 環境に関するディープなインサイトが必要となります。

Media6Degrees(m6d) のシステムエンジニアリング担当ディレクターである Amit Gupta 氏は次のように述べています。

「Hadoop は私たちのインフラにおいて重要な役割を担っており、様々な関係者がこれを使って、ブランドマーケティングに関するインサイトを顧客に提供しています。Compuware dynaTrace Enterprise がそのまますぐに使える機能として提供している MapReduce ジョブへのディープな可視化の性能には驚かされました。dynaTrace の自動ホットスポット分析により、MapReduce ジョブの問題の根本原因を、数日ではなく数分の内にピンポイントで突き止められるようになったのです。Hadoop 環境も迅速に最適化できるようになり、結果的にコストも大幅に削減されました。また、急成長している企業としては、新たなパフォーマンスシステムの習得と管理が短時間で行えるわけですから、この使いやすさと多数の自動機能は、実にありがたいです」

特許取得済みの [PurePath テクノロジー](#)を駆使し、[Compuware dynaTrace Enterprise](#)は Hadoop アプリケーションに関する、前代未聞のレベルの可視化を実現し、大規模展開が可能で弾力性に富んだこの環境を、以下に挙げる独自の手法によりサポートします。

- ・ ゼロコンフィギュレーションでの実装

そのまますぐに使えるダッシュボードで、Hadoop MapReduce のパフォーマンスの 100% ディープな可視化が実現しました。コード変換が不要で、導入及び管理も簡単です。

- ・ ワンクリックによるホットスポット分析

高度分散型でロングランのジョブを含む、MapReduce ジョブのホットスポット分析がワンクリックで行えるため、MTTR(解決に要する平均時間)が短縮。従来は数時間あるいは数日を要していた根本原因の解明が数分でできるようになりました。

- ・ 自動パフォーマンス分析

MapReduce ジョブのリソース消費とクラスタ全体の規模に関するディープなインサイトと、タスクレベルから個々のメソッド実行時間に至るまでの自動パフォーマンス分析により、Hadoop 環境を最適化し、コストを削減します。

- ・ クラスタの健全性の相関監視

Hadoop のクラスタ全体から個々のマシンに至るまで、さらには、CPU、メモリ、ディスク、入出力、ガベージコレクションまでを監視し、システムの健全性を検知するとともにジョブパフォーマンスとの相関関係を検証します。問題があれば、サービスレベルアグリーメント(SLA)に影響を与える前にこれを解決します。

- ・ MapReduce エラーとジョブ、タスク、メソッドレベルディテールとの相関関係自動分析

市場に存在するどのアプローチよりも迅速な MTTR を実現。

コンピュウェア APM ビジネスユニットのゼネラルマネージャーである John Van Siclen は次のように述べています。

「Hadoop アプリケーションの市場は飛躍的に拡大しており、Hadoop を利用する顧客企業は、ログファイル分析やポイントツールの先を行く、[新世代の APM 手法](#)を求めています。Hadoop アーキテクチャ用に作られ、箱から出してそのまでダイナミックかつ弾力性のある環境をサポートし、導入も利用も簡単な APM システムが期待されているのです。また、自社の運用するスケーラビリティの高い Hadoop 環境に対応すべく、値段も手頃なものでなければいけません。[dynaTrace Enterprise](#) をこの価格設定で提供することによって、Hadoop 市場も成長し、高度に最適化され、チューイングアップされた Hadoop の本番稼動がより簡単に達成できるようになると信じています」

[dynaTrace Enterprise](#) のビッグデータについて、詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

Compuware APMは、Web、非Web、モバイル、ストリーミング、クラウドアプリケーションといった様々なアプリケーションのパフォーマンス最適化を実現する業界屈指のソリューションです。エンドユーザー体感に基づき、ユーザーが利用するブラウザから、クラウドを通じてデータセンターにいたる、アプリケーションデリバリーチェーン全体の統一ビューを提供します。

コンピュウェアは、全世界で4,000以上の顧客企業が存在し、[Gartner『Magic Quadrant for Application Performance Monitoring \(APM\)』](#)において、「リーダー」に位置づけられています。詳しい報告書はこちらから参照できます：<http://bit.ly/q5jKi7>（英文のみ）

コンピュウェアは、Twitter、Youtube、Facebookなどからも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・http://twitter.com/compuware_japan（日本コンピュウェアアカウント：日本語）
- ・<http://www.youtube.com/user/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://outageanalyzer.com/>（Outage Analyzer：英語）
- ・<http://www.cloudsleuth.net/>（CloudSleuth：英語）

■ コンピュウェアコーポレーションについて

コンピュウェアは、'The Technology Performance Company'として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュウェアのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、フォーチュン 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピュウェアコーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピュウェア株式会社 <http://compuware.co.jp/>

■ お問い合わせ先

- ・報道関係の方

日本コンピュウェア株式会社広報事務局（株式会社ジャパン・カウンセラーズ内）

TEL: 03-3523-8210、Email: compuware@jc-inc.co.jp

- ・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュウェア株式会社営業部代表

TEL: 03-5473-4531、Email: marketingjapan@compuware.com

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。